

1. エホバに見^み倣^{なら}うためあらゆる人^{ひと}に語^{かた}る公^{こう}平^{へい}な神^{かみ}エホバ人^{ひと}々^{びと}を引^ひき寄^よせる※人^{ひと}の心^{こころ}と人^{ひと}の外^{がい}見^{けん}大^{たい}切^{せつ}な^{こころ}のは心あ^{ひと}ら^{つた}ゆる人^{ひと}に伝^{つた}えてゆ^こう「神^{かみ}の友^{とも}にな^れる」と2. エホバはご^{らん}覧^{らん}になる人^{ひと}の心^{こころ}の中^{なか}をど^{ひと}んな人^{ひと}であ^らうと良^よい知^しらせ 伝^{つた}えよう(※ 繰^{くり}り返^{かへ}し)3. エホバに仕^{つか}えるため生^いき方^{かた} 変^かえる人^{ひと}をエホバは喜^{よろこ}ばれるそ^{つた}のこ^ことを伝^{つた}えたい(※ 繰^{くり}り返^{かへ}し)